

るパスのテーマを決定しました。その後、国立病院機構熊本医療センターの電子クリティカルパスと地域連携クリティカルパスを見学させていただき、最後に院内で定期的に実施されている「クリティカルパス研究会」に参加いたしました。第2日目の午前中はグループに分かれてクリティカルパスを実際に作成しました。午後からは午前中に作成したパスをグループ毎に発表して、全員で討議しました。

当院でも3年前から電子カルテが稼動しており、多数のパスを作成しています。しかし、達成目標の設定や評価まで行っているパスがほとんどないのが現状です。今後、院内のパスを見直す予定であり、その際、今回のセミナーに参加したことが大変役立つものと考えられました。

平成19年度 第2回地域連携クリティカルパス分科会

テーマ：脳卒中、がん、糖尿病、急性心筋梗塞における現状と課題

東京女子医科大学病院地域連携室 下村裕見子



会場風景

平成20年2月23日(土)、日本医療マネジメント学会平成19年度第2回地域連携クリティカルパス分科会が愛知県歯科医師会館にて開催されました。平成20年、様々な医療制度改革が施行されます。なか

でも都道府県を主管部とした「地域医療計画」は医療機関にとって、緊喫の課題です。

日本医療マネジメント学会宮崎理事長の開会挨拶と第10回本学会学術総会会長の稲垣春夫トヨタ記念病院長の挨拶のあと、先ず、国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 野村一俊先生より「地域連携クリティカルパスの基本」と題しての基調講演がありました。地域連携の基本は機能分担と連携による地域完結型医療であること、地域連携クリティカルパス活用効果として施設間コミュニケーション、知識・技術向上が期待できること、更に患者・家族の連携医療の理解を促すものであることを、ご自身の経験を踏まえて講演されました。

続いて脳卒中、がん、糖尿病、急性心筋梗塞において、作成・運営をしておられるオピニオンリーダー医から現状と課題についての〈事例報告〉がされました。地域においてどのように疾患別ネットワークを構築したか、リスクファクター管理と継続的なフォローアップをマネジメントするための役割分担、疾患特性による地域連携クリティカルパス(一方向型、循環型)フォームの工夫、経時的疾患別患者データベースとして臨床指標の大切さなど、示唆に富む内容でした。また運用医療機関拡大ならびにIT化への課題への提言がありました。

最後に厚生労働省からの特別発言による総括が行なわれました。

会場からは歯科医からの質問もあり、これからの医療が「地域力」をもって総力で行なうものであることを実感できる分科会でした。

開催報告

地方会

第8回茨城県地方会

学術集會会長：筑波大学附属病院副院長 五十嵐徹也

平成19年12月1日(土)の午後、筑波国際会議場において、「地域連携の効果的な推進のために」を基調テーマとして開催されました。総参加者約500名が集い、計42題の口演、64題のクリティカルパス展示が行われました。口演のセッションでは従来からのフレームに加え「経営・管理」のセッションを設け、コンフリクトマネジメントや診療録管理の問題を取り上げ、各医療機関の事務職から大きな関心が寄せられました。また、「広がる、つながる」をキーワードとして地域連携クリティカルパスには特別にマークを付けて参加者の注目を引くようにしました。最終セッションでは、県の保健福祉部長 泉陽子氏、筑波メディカルセンター理事長 中田義隆氏にご参加いただき、会長の司会で「茨城県の医療をどうしていくのか」というテーマで鼎談を行い、医師確保、研修・教育、市民の医療リテラシーなどの問題を取り上げ、参加多職種の方々に自らが置かれている地域医療のマクロ環境の実情を理解していただく場としました。

第14回静岡県地方会

当番世話人：聖隷浜松病院 町田浩道



会場風景

平成20年2月2日(土)、アクトシティ浜松で第14回日本医療マネジメント学会静岡地方会が開催されました。寒中にもかかわらず参加者は171名(高知県、愛知県からの参加あり)、クリティカルパス展示・討論、

口演発表が行われました。

クリティカルパス展示・討論では大腸癌、肺癌および脳梗塞をテーマと致しました。大腸癌は本会で数回取り上げられ施設間の共通認識が高まっていました。今回は新たな施設参加もあり熱い議論が行われました。肺癌クリティカルパスは静岡県内ではほぼ標準化されていたようです。脳梗塞は地域連携クリティカルパスとの関連を含め討論されました。

口演発表では地域連携クリティカルパス関連が7題あり施設間連携の重要性が再認識されました。また糖尿病、結腸、白内障、禁煙、電子クリティカルパス各1題と多彩な演題発表もあり当地域のクリティカルパスに対する関心の高さを示していました。

当会での議論、検討を基に『静岡スタンダード』を確立できる日も近いと感じました。ご参加の皆様ありがとうございました。